



宝塚ホテル工事初期段階 2017年11月撮影



宝塚ホテルが武庫川の景観を代える？ 2019年8月撮影



甲武橋上流の漂着物 初めて見る風景 2019年8月



浚渫後約半年で砂州が育ち草原になった甲武橋下流砂州



4号魚道に群れる鵜とサギ



天神川にオイカワの群れ 2019年9月19日

宝塚付近の武庫川の両岸にビッシリ高層建築物が建ち並び、建物の向こうから日が昇り、ビルの向こうに夕日が沈み、川を挟んだ自然景観は昔語りになってしまった。河原に降りなければ観光ダムの噴水も見えなくなってしまった。北九州では今年も洪水に悩まされたが、武庫川はどちらかというと濁水気味で推移した。しかし何故か土砂堆積は進んだ。甲武橋上流側で見かけた流木の塊は始めて見る光景、何故こんなところに、こんなものがと不思議な感じがした。今春浚渫した甲武橋下流側の砂州は土砂堆積しはじめたのか一面緑に覆われるようになった。浅くいなった仁川合流点もオイカワかモロコの稚魚の群れが見られるくらい。潜水橋下流側の床止めブロックも砂に埋まりアユの食むコケも付かなくなり、数年前までシーズンになると姿を見せていたアユはその気配さえ感じられない。4号魚道に鵜とサギが群れ恰もアユ遡上時期を思わせる光景に、ヒョッとしたらアユが下り始めたのではないかと数年前にアユが観察できた天神川合流稲野橋へもしやの思いで観察にいった。橋上から双眼鏡で観察では、アユのようにも見えた。写真を拡大するとオイカワの群れでガッカリした。水温25度で下降には高すぎる。